

## リモートフィールドによるボイラーチューブの探傷 (ZHOUZHAN SHIPYARD IN CHINA)

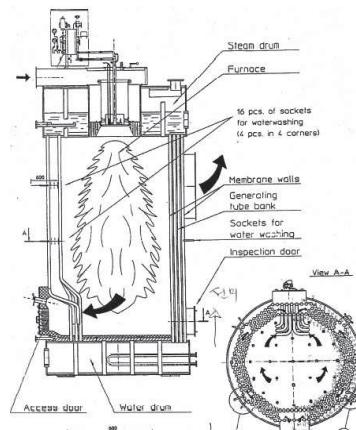
4月5日～4月7日の期間に中国・浙江省舟山市にあるSHIPYARDで、原油タンカーのボイラーチューブの肉厚をリモートフィールドで探傷しました。当初の予定では、韓国の検査員2人、テストックス・ジャパン(日本)から1人、計3人でチーム編成をするのですが、韓国チームのリーダーが韓国から出国する際、中国のビザが切れていたことが判明し、結局、韓国の検査員1人と私(松永)の2人で現地に行くことになりました。お互い国籍は違い、また中国での探傷は初めてでしたが、これまで一緒に仕事した経験が多く共通認識があるので、問題なく探傷は進みました。

現場は止栓されたチューブが13本あり、それらは破孔している状況でありました。ボイラー内の過酷な環境を再認識させられました。探傷結果は、予想通り減肉が著しいものでした。

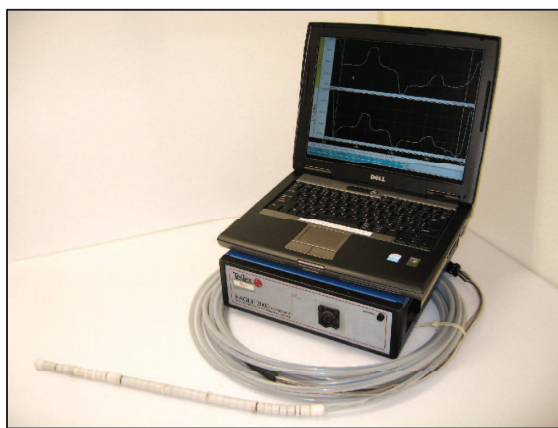
来月は、マレーシアのSHIPYARDでボイラーチューブの探傷を実施します。



中国・浙江省舟山市



ボイラー



Eagle2000(リモートフィールド)



破孔状況



今回のメンバー(キム、松永)  
キム、カムサハムニダ!



中国・浙江省舟山市の風景